

夏休み前集会校長講話

令和2年8月6日(木)

つい先日梅雨が明けました。蝉が短い一生を精一杯生きているのを誇示するかのよう、力を振り絞って鳴いています。

強い日差しと蝉の鳴き声、まさに夏真っ盛り、一年で一番暑いときを迎えています。

75年前の今日、広島に原子爆弾が投下されました。今日のように真夏の暑い朝だったようです。

そして伊都中体連大会が開催される8月9日、同じく75年前に長崎に原子爆弾が投下されました。

今年の夏休みは明日から8月16日までと例年の4分の1しかありません。当然、みなさんの夏休みの過ごし方も例年とは違ったものになります。じっくりと学習に取り組んだり、部活動に没頭するというよりも、生活リズムを崩さず生活することが求められます。そこで、この前の集会でみなさんに投げかけた「考える」の登場です。

このあと生徒指導の松本先生や、各クラスで担任の先生からより詳しく話があると思います。先生の話をしっかり聞いて、生活リズムを崩さない夏休みの過ごし方をしっかり考えてください。そして考えたことを行動にうつしてください。

みなさんが考えるヒントとして、「自制心」という言葉をキーワードとして提示したいと思います。

短い夏休みですが、最初に話したように、原爆の日や終戦記念日があり、戦争や平和について考えるいい機会でもあります。また、お盆もあります。機会があればお墓参りなどもしてほしいと思います。ご先祖さまに手を合わせることは案外、癒し時間になったりもします。

すぐに学校が再開されますが、事件や事故に巻き込まれることなく8月17日に元気なみなさんの顔を見せてください。

まずは中体連大会、頑張ってきてください。

以上、終わります。